

# 審査員からのコメント

本作品は、実体験からコミュニケーション手法としての手話の重要性に気づき、愛媛県において手話言語条例が制定されていない現状にあって、条例の制定が手話の普及ならびに聴覚障害者が健聴者と共に生活できる環境作りに不可欠であるという認識のもとで、テキストマイニング等のユニークな手法も用いながら条例案の策定を行うことによって課題解決に取り組んだところは高く評価できる。一方で、条例先進県である鳥取県の手話普及状況は調査しているものの、条例のない愛媛県と先進県との違いが示されておらず、条例制定の意義・メリットが考察不足のところ惜まれる。県に条例制定を促すためにも、今後の活動として期待する。

